

# 令和 7 年度 第 2 回 徳島市地域公共交通会議 議事録

日時:令和 7 年 12 月 23 日(火) 午後 2 時から

場所:徳島市役所 本庁舎 13 階 第一研修室

- ・欠席者 3人
- ・傍聴者 1人
- ・市政記者 1社

## 【会議次第】

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 協議事項
- 4 報告事項
- 5 閉会

<b>1 開会</b>	
<b>2 会長あいさつ</b>	
会長	<p>本日は、委員の皆さんにおかれましては、年末のお忙しい中、お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。日頃から、徳島市の交通行政をはじめ、市政各般にわたりまして、ご尽力ご協力いただきしておりますことに厚く御礼申し上げます。徳島市の公共交通の中心である路線バスにつきましては、少子高齢化、また人件費や物価の高騰などで、運賃収入の減少と運行経費の増加が見込まれて、依然として厳しい状況が続いております。このような中ですが、本市では令和 6 年 3 月に策定いたしました徳島市地域公共交通計画に基づき、交通局路線の運営を市長部局に移行し、民間事業者へ運行業務を委託することで、運行収支の改善を図り、将来にわたり持続可能な市バス路線の維持・確保を目指しております。本日の会議では、令和 8 年度に市長部局へ移行する路線の運行計画案の他、市バスの整理・再編案につきまして、ご協議を賜りたいと存じます。</p> <p>なお、本日の協議事項につきましては、今月の 11 日に開かれました 12 月徳島市議会定例会の産業交通委員会におきまして、報告をさせていただいたところでございます。委員の皆様におかれま</p>

	しては、十分なご審議をお願い申し上げまして、簡単でございますが挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願ひいたします。
<b>3 協議事項</b>	
<事務局説明> <b>資料1</b>	
(1) 徳島市バス路線の移行(案)について	
会長	ただいま事務局から説明のありました案につきまして、何かご質問等はございますでしょうか。
委員	運行本数が減るというのは、移行に伴って、サービスとしては減少する傾向にあるのですが、便の、ダイヤ調整の方で補われているということかと思います。便を減らす中で、パターンダイヤという編成方針も考えられるかとは思うのですが、そういう傾向は、元々少しあるのですが、ここで、大幅にということも、あまりないかなと、感じました。何か問題があるからやらないということなのかなというのを確認しておきたいです。運転手不足が、言われておりますので、そのあたりもあって難しいということだったのか、そこを確認しておきたいと思います。以上です。
事務局	委員がおっしゃるパターンダイヤですが、全国的にも、乗務員不足で、減便とか事業者自体が廃止になるという現象が起こっております。徳島も全国同様になっておりまして、やはり乗務員不足という状況でございます。今いる乗務員で、いかに回していくかというのを考えると、パターンダイヤというのが、なかなか少し組みづらいのかなと考えております。以上でございます。
委員	仕方ないというのは、把握しました。この先ですね、さらに人口減少で、負のスパイラルというのがさらにどんどん進むということを考えられますので、どこかで、歯止めになるような、ダイヤ編成というのも、将来検討いただければと思います。以上です。
会長	ありがとうございました。他にございますか。
委員	津田線が、上りも下りも減便するのですが、これは、人口が減っているということもあるし、徳島バスの並行路線があるので、事務局の説明では、あまり変化がないというか、不便を感じさせないの

	ではないかということについては、納得するところもあります。ただし、道路とか街の事情が変わりつつある状況から、津田には、南部自動車道が通って、もう 3 年になりますが、この南部自動車道を北に渡って、沖洲の方から市場前を通って、市立高校の前を通過、それから商業高校の裏を通って、市民病院のところまで出て、そこから駅の方へ入るという路線を新しく考えていただいたらどうかなという風に思っています。というのは、津田から沖洲に行くには、川が挟んで目の前に見えるのですが、自転車とか歩きで行くのは結局県庁まで行って、戻ってきてまたずっとあの沖洲の方まで行かなくてはならない。だから、海岸線に南部自動車道が通ったのだから、沖洲へ車で 5 分足らずで行けますが、徒歩や自転車、オートバイではこの高速道路を通れないわけです。そういうことを考えると、南部自動車道を通過すると、子供たちは学校に通うにしても病院に行くにしても近くなります、これを循環道路みたいにしてくれたら非常に便利が良くなるなという風に私は考えております。だから、前にも言ったと思いますが、そのところを現状維持だけじゃなく、これから前向きに考えていただきたいなと思います。よろしくお願ひします。
会長	ありがとうございます。大変ごもっともな意見だと思います。高速道路が通った後に色々問題があるのかなとは思うのですが、事務局から説明します。
事務局	やはり道路状況とか、当然街の作りなど変わっていきますので、それに応じた形で路線バスも見直していくべきとは思っております。来年度以降、市全体で大きな路線の整理・再編に着手する予定にしておりますので、その中で委員のおっしゃったような路線を走らせられないかということも検討させていただきますので、どうぞよろしくお願ひいたします。
委員	一応検討いただけるということで、よろしくお願ひします。
会長	色々難しい問題もあるかと思うのですけれども、できるだけ頑張って検討していただきたいと思います。 他にはよろしいでしょうか。
	—意見なし—

会長	それでは、この件につきましては、事務局案の通り、ご承認いただいてよろしいでしょうか。
	— 承認 —
会長	ありがとうございます。それでは、ご承認いただきましたので、手続きを進めさせていただきます。 続きましては、協議事項 2 の徳島市バス路線(大神子線、新浜線)の整理・再編案について、事務局から説明をお願いいたします。
<事務局説明> 資料2	
(2) 徳島市バス路線の整理・再編(案)について	
会長	ただいま事務局から説明のありました案につきまして、何かご質問等はございますでしょうか。
委員	マルナカ徳島店前から乗られる方もいらっしゃると思われますが、今まで、徳島駅に向かう方向のみであったと思われます。ですが、今回の変更に伴い、大神子の方に向かうという路線が出来て、途中で分かれていく形になって、徳島駅では、案内も幾分丁寧で、乗客も気をつけて、どの路線に乗ったらよいかというのを考えおられますが、今までマルナカで乗っていた方も、徳島駅へ行くものだと思い込まれていると大神子へ行ってしまって困られる可能性もあるかもしれません。そのあたりについて、注意を促すような仕掛けを検討いただければと思います。以上です。
事務局	沿線の住民の方には、事前にポストインでリーフレットを配布する予定です。それ以外の、ご利用の方につきましては、車内ポスターなどで周知させていただきます。また、委員がおっしゃったような、乗り間違えないような方策を考えたいと思っております。以上でございます。
委員	それではよろしくお願いします。
会長	バスが来た時に「これはどちら行きですよ」という案内があれば良いでしが、なかなか難しいでしが。
事務局	バスの前面の上の方に、行き先は書いています。ただ見られていない方もいらっしゃるかもしれません。また、横の側面にも表示がされておりますので、そこは少し注意して見ていただくのと、乗り

	間違いの状況も見させていただいて、検討したいと思います。以上でございます。
委員	<p>徳島バス(株)です。先ほどの話でもありましたが、やはり新しいことをするとなれば、利用する方が混乱する可能性は十分に考えられますので、通常の停留所より少し長く停車するとか、バスの放送を車外にもできますので、停留所でお待ちのお客様に向けて、「これはどこ行きですよ」というのを肉声でも放送していくようにさせていただきます。</p> <p>また、路線再編につきまして、便数が減ったことで、ご不便をおかけする形にはなるのですが、徳島市と路線を再編していく中で、まずは徳島バスが受けられるようなボリュームでお願いできますかという効率化を意識しています。財源も潤沢にあれば、もうどんどん便数を出せばよいと思うのですが、やはり限られた中で、今後、路線を持続可能にしていくという部分で、徳島市から伸びる路線につきましても、今は、徳島駅前を起点終点に、バスが走っていますが、路線を再編する上で、徳島市の路線、交通局の路線、あと幹線路線を、うまく効率化していく。先ほどヘッドダイヤというお話もありましたが、ゆくゆくはこのヘッドダイヤで無駄をなくしていきたい。今、どうしても津田や新浜のあたりで団子になって、徳島バスの便と徳島市の便が走る時間帯がありまして、やはり少し無駄があるのではないかというところもあって、大きな再編というのは、今後、協議しながら、どこがハブになって、そこからどう繋ぐかというような再編を今後やっていく。一旦は、この4月の段階では、徳島バスが受けられるボリュームというか、運行に支障がないようなものとしたい。こういう話をしながらも、昨日ぐらいに鳴門の方で、インフルエンザで運休してご不便を今おかけしているのですが、こうしたことがないようにしていくためにも、やはり、実際走れるボリュームにしていくというのも一つかと思いますので、皆様のご意見を聞きながら、それを参考に再編していけたらと思いますのでよろしくお願ひします。</p>
会長	ありがとうございました。他にございませんか。
委員	大神子線について、新浜経由の路線の便が増えているというか、同じ数ではありますが、津田回りの方が4便ほど減っているということは、津田の方はあまりにも不便になるということです。考え

	てみたら、津田の方に、小学校も中学校もある。また銀行もあるし郵便局もある。最近は高速道路の津田の方から南部自動車も回れるようになっているということを考えると、津田の方に回っていく便が少なくなるという話を聞いているのですが、しかしこれはちょっと便利が悪くなるのではないかなと思います。現在は知りませんけれども、大神子に、小学校や中学校の生徒が昔はよく遊びに行ったり、イベント行ったような記憶があるのですが、現状は、乗られる人は非常に少ないという風に事務局から聞いていますが、これを実際にやってみて、色々問題や不便があったら、見直してくれるのかどうか、お伺いしたいと思います。
事務局	今回の大神子線のルート変更で、通らなくなる津田のあたりから大神子方面の、利用者というのが、1便あたり、平均して1人もいないような状況でございます。そういう状況なので、大きな影響はないものと考えておりますが、とりあえずこの路線の状況を見させていただいて、不便になったというお声がありましたら、また検討させていただきたいと考えております。以上でございます。
委員	了解です。一応、後で見直してくれるということで、ありがとうございます。
会長	他にございませんか。
委員	先ほど他の委員さんがお話されたものと、若干同じような話にはなろうかと思いますが、この間、路線の整理再編というところで行われていているところなのですけど、やっぱり大きな要因で言ったらやっぱり乗務員不足というところで、そういう形になっていかざるを得ないという状況は、一定承知はしているところです。ただ今回もそうですが、色々経由しながら今まであった路線をあちこち経由していきながらというところで、やはりそうしたところで先ほどの話にも出ましたが、お客様にも分かりにくくなったりし、さらには乗務員にとっても複雑化になっていって、路線間違いになったり、そのルートに集中しなければならなくなったりして、なかなか乗務員にとっても労働環境が悪化してきているというところもありますし、さらに乗務員不足というものに拍車をかけていくような現状にもなります。さらに、お客様に説明する事務方にもなかなか説明がつかないところもやっぱり出てきています。説明して、こっちはもう十分分かったつもりで話し、説明はす

	<p>のですが、お客さんにとっては全く知らない状況なので、こっちが分かったと思って電話を切っても、向こうのお客さんたちは違った解釈をしてしまっているというところがあります。さらに、今お客様がだんだん減っていっているという要因の中の一つとして、定時性があると思います。この時間に着きたいのに何時に着くか分からぬというところで、やはりそこからバス離れというのも進んでいっていると思います。そういう中で、さらに色々なところを経由していくとなったら、さらに時間が読めなくなってきて、さらに乗らなくなってくるという悪循環にもなってくるような状況にもなっていくかと思いますので、その辺も十分検討しながら進めていっていただきたいという風に思いますし、さらに次は令和8年度に大きな再編というのか、市全体を考えて見据えて、路線の整理再編というところが行われていくという風に先ほどお伺いしたわけなのですが、市内中心部の幹線と郊外線というのは一定住み分けて考えていく必要もあると思いますし、やっぱり1番には徳島市としてどういった街づくりをしていくのか、そこにどう公共交通を落とし込んでいくのかということが一番の課題だと思います。ただ公共交通だけを線引きしたところで、やはり住みやすい街にはなっていかないと思います。やはりそこにはちゃんと徳島市のビジョンを作っていただきて、そこに落とし込んでいくというその作業が必要だと思います。そこには、住民、地域住民の意見も取り入れる。さらには乗務員、現場の人間の意見も取り入れる。さらにはクロスセクター効果というのも今盛んにうたわれておりますけど、そういう面もひっくるめて、持続可能な地域公共交通の構築をしていただければならないという風に思っておりますので、またそのことも含めまして今後はよろしくお願いしたいという風に思います。</p>
会長	<p>ありがとうございます。大変貴重なご意見で、また私も色々まちづくり等々の担当もしておりますが、非常に耳が痛いと言いますか、非常に真っ当なご意見だと思っております。おっしゃる通り色々まちづくりの中で、公共交通を落とし込んでいく、それも、住民の皆さんとか利用者、それから運行事業者の方の意見を聞きながら、ということで非常に大事なことだと思っておりますので、できるだけ早くですね、そういう風にやっていくようにしていきたいと思っております。これはこの会議の会長といいますより、副市長として</p>

	の考え方でございますけれども。今のご意見に対してすぐに答えがあるとなかなか思いませんけれども、事務局から何かありますか。
事務局	来年度以降、全体的な路線再編を検討していく中で、委員がおっしゃるように、やはりバスの分かりやすさというのは重要と思っておりますので、それも含めて検討していきたいと考えております。以上でございます。
会長	他に何かございませんでしょうか。
	—意見なし—
会長	それでは、この案につきまして、事務局案の通りご承認いただいてよろしいでしょうか。
	— 承認 —
会長	ありがとうございます。それではご承認いただいた内容で、手続きを進めさせていただきます。 次に報告事項が 2 件ございます。初めに報告事項 1 の、上八万コミュニティバスの運行ルート変更について、事務局から報告をしてください。
<b>4 報告事項</b>	
<事務局説明> <b>資料3</b>	
(1) 上八万コミュニティバスの運行ルート変更について	
会長	ありがとうございました。ただいまの報告につきまして何かご意見等ございませんでしょうか。
	—意見なし—
会長	それでは、次に、報告事項 2 の路線バスへの交通系 IC カードの導入について事務局から報告をお願いいたします。

<事務局説明> 資料4

(2) 路線バスへの交通系 IC カードの導入について

事務局による欠席 委員コメント代読	IC カード導入について熱望していましたので大変嬉しいです。関係者の方々の努力に感謝と敬意を表します。
会長	ありがとうございました。いよいよ IC カードが使えるということで、早く JR でも使えたらしいのですけれども、ただいまの報告で何かご意見等はござりますか。
委員	交通系 IC、ICOCA 導入に向けて、徳島市さんが一緒になって、徳島に交通系 IC を入れるというのを決めていただいたおかげで、来年 3 月に、いよいよ、徳島にも、今日本で唯一交通系 IC がないというような不名誉な徳島県ですが、これによって大きく、徳島の公共交通が変わっていくのではないかと期待しております。これに関しまして、まず徳島市さん、そして徳島市交通局さんが、同じ考え方でやっていただけたのが非常に大きかったというところで、まだこれから始まっていくので、ご苦労はあるとは思うのですが、まず感謝というか、お礼を申し上げます。ありがとうございました。
会長	他に何かございますか。
	—意見なし—
会長	それでは、本日の協議事項につきましては、皆さんのご承認いただきました。事務局に進行を返します。

5 閉会

事務局	委員の皆様、ご審議にご協力いただきましてありがとうございました。今後ともよろしくお願いを申し上げます。本日は貴重なご意見、ご協議ありがとうございました。それではこれをもちまして第 2 回徳島市地域公共交通会議を閉会いたします。どうもありがとうございました。
	以上